



ひしのみだより

4月10日(土)入園式 ご入園おめでとうございます！



4月10日は入園式。年度途中の入園のお友だち、コロナ禍の中、出席できなかったお友だちもこの日、入園式に出席です。もも組さんから進級した年少さんも新しい制服がよく似合っています。26名の新入園児のみなさん、おめでとうございます。



「やさしく・かしこく・たくましい子」に育むため、「チームひしのみ」全職員一丸となって、質の高い教育・保育を提供していきます。さあ、令和3年度、園児87名、職員29名の新たなスタートです。



4月17日(土) ひしのみのお会(PTA)総会、保育参観、個人懇談(~21日)



総会では、園長挨拶の中で、園の目標の他、園と家庭の役割、生活習慣の確立に向けて、最後に子どもたちに必要不可欠なビタミンI(愛)の話をさせていただきました。PTA・こども園、両輪となりしっかりと子どもたちを育てていきたいと思ひます。PTA旧役員の皆様、ありがとうございました。新役員の皆様、保護者の皆様、お世話になります。よろしくお祈りします。



さて、今年度、初めての保育参観はいかがだったでしょうか。今年度は、園の行事については、実施方法を工夫し、開催の方向で考えていきたいと思ひます。ご支援・ご協力をお願いします。また、個人面談もありがとうございました。今後、何かございましたら、担任・園までご相談ください。

旭学園「校祖祭」・「創立記念日」

旭学園は、今から124年前の1897年(明治30年)に、校祖 中島ヤス 先生が、近隣の子女の切望により、家塾を創設されたことが始まりです。旭学園では、毎年5月18日を「創立記念日」と定め、前日の17日に「校祖祭」を執り行い、中島ヤス先生の遺徳を偲び、建学の精神を次代に引き継いでいます。

中島ヤス先生は、朝の太陽が空に昇るがごとく、ただ単に校運隆々(こううんりゅうりゅう)というのではなく、太陽の光が万民に等しく降り注ぐように、この学園の教育が、すべての子どもたちに公平無私(こうへいむし)であることを願われて、『旭』学園と名付けられました。



校祖 中島ヤス先生

